

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年11月10日 (2016.11.10)

【公開番号】特開2015-59775(P2015-59775A)

【公開日】平成27年3月30日 (2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-021

【出願番号】特願2013-192431(P2013-192431)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/359 (2014.01)

G 0 1 N 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/35 1 0 7

G 0 1 N 15/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月16日 (2016.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

評価の対象となる乳化化粧料を被測定物として近赤外線吸光度を測定する工程と、
 所定の基準を満たす大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値と、前記所定の基準を満たさない大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値とを用いて導出された検量線と、前記評価の対象となる乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度とを用いて、当該評価の対象となる乳化化粧料に含まれる乳化粒子の大きさが前記所定の基準を満たすか否かを示す値を算出する評価値算出工程と、
 を含む乳化化粧料の評価方法。

【請求項 2】

前記検量線は、所定の基準を満たす大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料に含まれる乳化粒子の粒子径と、前記所定の基準を満たさない大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料に含まれる乳化粒子の粒子径とを用いて統計解析により予め導出しておき、

前記評価値算出工程において、前記評価の対象となる乳化化粧料の乳化粒子の粒子径の推定値を算出する

請求項 1 に記載の乳化化粧料の評価方法。

【請求項 3】

溶剤である水と、油剤と、乳化剤とを所定の割合で混合して乳化させ、乳化化粧料を生成する生成工程と、

所定の基準を満たす大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値と、前記所定の基準を満たさない大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度及び当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値とを用いて導出された検量線と、前記生成工程で生成された乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線吸光度とを用いて、前記生

成工程で生成された乳化化粧料に含まれる乳化粒子の大きさが前記所定の基準を満たすか否かを示す値を算出し、前記生成工程で生成された乳化化粧料を評価する評価工程と、
を含む乳化化粧料の製造方法。

【請求項 4】

評価の対象となる乳化化粧料を被測定物として近赤外線の吸光度を測定する測定部と、
所定の基準を満たす大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤
外線の吸光度及び当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値と、前記所定の基準を満たさ
ない大きさの乳化粒子を含む乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線の吸光度及び
当該乳化化粧料の品質評価の指標となる値とを用いて導出された検量線と、前記評価の対
象となる乳化化粧料を被測定物として測定した近赤外線の吸光度とを用いて、当該評価の
対象となる乳化化粧料に含まれる乳化粒子の大きさが前記所定の基準を満たすか否かを示
す値を算出する評価値算出部と、
を含む乳化化粧料の評価装置。